

西東京市 図書館だより

平成14年(2002年)10月5日

第7号

中央図書館

西東京市南町5-6-11
(0424)65-0823

谷戸図書館

西東京市谷戸町1-17-2
(0424)21-4545

下保谷図書館

西東京市下保谷4-3-18
(0424)21-3060

柳沢図書館

西東京市柳沢1-15-1
(0424)64-8240

芝久保図書館

西東京市芝久保町5-4-48
(0424)65-9825

ひばりが丘図書館

西東京市ひばりが丘1-2-1
(0424)24-0264

編集・発行：西東京市図書館

秋の夜長を 図書館の本と共に

■第一夜く映画と共にく

図書館には、映画に関する本がたくさんあります。そのなかで今回は、共同通信社「最新版 アカデミー賞」をご紹介します。写真とエピソードで綴るアカデミー賞受賞作とノミネート作の全記録。第74回(2001年)まで。「ああ、この映画はあの時代に」と、ご自分の思い出と重なる作品がきつとあるのでは。

1985年作品賞「愛と悲しみの果て」原作は、I・ディネーセンの『アフリカの日々』原作をお探しになる。とき、映画の題名と違う場合があります。1996年作品賞「イングリッシュ・ペイシエント」原作は、ブツカー賞受賞のM・オンダーチェ「イギリス人の患者」患者patientであることを、この映画で始めて知った方も多いいのではないでしようか。

また、図書館には原書もいくつかあります。1993年作品賞「シンドラのリスト」、1994年作品賞「フォレスト・ガンプ」などよく読まれています。関連書が多く出版された作品と言え、1997年作品賞「タイタニック」でしょう。福知怜『タイタニック号99の謎』、ウオルタ

ーロード『タイタニック号の最後』、ダニエル・アレン・バトラ『不沈タイタニック悲劇までの全記録』など。たくさん関連書が読まれました。

おもしろい企画としては、1999年作品賞「アメリカン・ビューティ」に関して『映画で覚える英会話アルク・シネマ・シナリオシリーズ』として対訳本もあります。図書館で映画館とは、一味違った楽しみ方をしてください。



■第二夜く手づくりのタペ

趣味をお持ちの方もたくさんいらっしゃると思いますが、これから何かをと考えている方にお勧めが、マリア書房「創作市場」シリーズ。現在、第1号の『和紙に遊ぶ』から25号の『ドールハウスに遊ぶ』まで。それぞれテーマごとに作家紹介、作品の写真、教室の案内などが載せられています。

テレビを見ながらやりたいなどと思う方には、NHKの雑誌「おしゃれ工房」「男の食彩」「趣味の園芸」などいかがでしょう。長い夜も趣味に打

ち込めばあつと言う間かも。



■第三夜く音楽を聴く

今年の6月から全館でCDの貸出しが始まりました。いままで、CDの置かれていなかった、ひばりが丘、柳沢図書館の利用者の方にも「CDも有るのですね」と好評を得ています。3点、2週間、本とは別に借りられます。

予約が多いのは、宇多田ヒカル「デイズダンス」、ミスター・チルドレン「1992〜1995(肉)」同じく「1996〜2000(骨)」など、新しい日本のポピュラーソングですが、中にはクイーン「グレイテスト・ヒッツ1&2」1995年作も健闘しています。もちろん、クラシックやジャズも好評です。

■第四夜く

たまには、早寝でもしましょう。CDでも聴きながら。

(下保谷図書館 星野 ひろみ)

2002夏休みすいせん図書館の利用状況がまとまりました。

「夏休みすいせん図書」の利用状況を紹介します。

グレードごとに、よく読まれた本を紹介すると、1、2年生では『でちゃん』『ソーティのうんちはどこいった?』です。ほのぼのとした安心感と、年齢にふさわしい説得力のある作品です。

3、4年生では『夢はワールドカップ』が圧倒的です。やはり覚めやらぬサッカー熱の勝利と言えそうです。『フレディ』もまた、一番人気のペットでもあるハムスターが主人公というところがうなずけます。5、6年生では、『ローワンと魔法の地図』です。ファンタジーの強さを思い知らされます。中学生では『生きのびるために』『ライディング・フリーダム』ですが、二作に共通する点は、強くたくましい女性が主人公ということで、おとなの読者(女性)が多いことが顕著でした。

例年、ノンフィクションの躍進振りが目だっていました。今回は振るわず残念でした。全体の選書のバランスにも影響しているかもしれません。来年に期待したいところで

●中学生

Table with 4 columns: 書名, 貸出回数, 複本冊数, 回転率. Lists books like 'ぬくい山のきつね' and '生きのびるために'.

がんばりました!! 一日図書館員

一昨年、昨年に引き続き、今年も7月24日(木)から30日(火)まで、子どもたちが一日図書館員を体験しました。

参加者は、小学生の部が43名、中学生の部が23名で、募集を大きく上回る申込みがありました。

当日、図書館に集まった子どもたちは、おそろいのエプロンと名札をつけて、ちょっと緊張した様子。真剣なまなざしで、説明に耳を傾けて



いました。そして実際にカウンターに立つと、最初は恥ずかしそうにしていたものの、次第に慣れ、利用者に元気に対応していました。利用者の反応もおおむね好評で、いつもと違う可愛らしい図書館員たちに、「がんばってね!」など声を掛けてくださる方もいらっしゃいました。それがまた、子どもたちにはうれしかったようです。最後には、子どもたちから「もっともっと、やりたかった!」の声も…。

楽しかった夏休みの思い出の一つとして、この一日が子どもたちの心に残ってくれたらと思います。参加してくれたみんな!また図書館で会おうね!

●小学生

Table with 5 columns: 学年, 書名, 貸出回数, 複本冊数, 回転率. Lists books like 'ふれ、ふれ、あめ!' and 'ソーティのうんちはどこいった?'.

たのしかったな! 「わらべうた・手あそびをみんなで楽しもう」

7月2日と9日に「子どもの読書活動の推進に関する法律」の基本理念に基づき行いました。服部雅子先生の指導で、合計24組の親子が「わ

らべうたと手あそび」の魅力をつぶり味わうことができました。ことばの持つ魅力とスキンシップを満喫できた一時間半でした。

図書館実習生日誌

今年の夏も、駿河台大学、立教大学、青葉学園短期大学から、図書館司書の資格を取得するための実習生を迎えました。以下は、立教大学の実習生の方々の感想文です。

西東京市図書館で図書館実習をしたと思った一番の理由は、昨年、市の合併という出来事を迎え、図書館はどのようになつたのかというお話を聞かせて頂けたらと思つていたので。幸いにもその考え通り、合併に関する様々なお話を聞く事が出来ました。

しかし今になって考えると、この図書館で実習をして一番良かったのは、熱心な職員の方々、優しい利用者の方々に、その他実習中に出会った全ての方が暖かく接して下さった事です。

実習中は、様々な面で勉強が足りないと感じられました。反省と共に、図書館で働きたいという思いも以前よりずっと強くなっています。

皆さんの暖かい心に包まれ、忘れられない素晴らしい実習をすることができました。本当にありがとうございました。

(立教大学 2年 窪田 恵美)

実際に図書館で実習するまで、やはり図書館の仕事といえばカウンターのイメージが強かった。だが、各担当の方に仕事内容を説明していただいて、本が棚に並ぶまでに本当に様々な作業があることがよくわかった。新たな発見だったのは、思っていたより各担当によって仕事内容が違ふことだ。

児童書担当の方の絵本の配置への心配りや、おはなし広場というイベント。地域行政資料の必要性やレファレンス・サービ担当の方の「マンツーマンのサービス」という考え方を除籍したり、選書するときに必要なとされる図書館員としての経験。担当によって、必要とされる働きが異なっていることがよくわかった。つまりそれだけ専門性の高い仕事が集まっている。初めて、図書館が運営されているということだ。

特に選書の風景はすごく興味深かった。一冊一冊を丁寧に評価していく。選書をしない方針の図書館も存在すると伺ったが、実際見学させていだいて、すごく重要な作業だと思つたのでぜひ西東京市ではずっと続けてほしいと、生意気にも感じた。

(立教大学 4年 木田 明理)



としょかんカレンダー

西東京市図書館をご利用いただきありがとうございます。
 定期休館日は毎週月曜日と祝日です。

月曜日と祝日が重なった時は翌火曜も休館します。
 日曜日と祝日が重なった時は開館し、月・火曜が休館日となります。

10・11・12月の開館日は次の通りです。

休館日

※新町分室は水曜日から土曜日、午後1時から5時まで開館します。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

図書館協議会から

平成14年度第二回定例会報告

7月18日(木)午後3時から5時まで中央図書館会議室で行いました。

議題

(1) 諸報告

①市議会6月定例会から

ブックスタートの推進については、杉並区、武蔵野市の実例も参考に、して実施を検討したい。

・その他報告

①図書館業務の民間委託は、配送業務や本の装備を行っている。

②インターネットによる検索と予約について

「図書館だより」第6号に掲載、6月から整備、一ヶ月で予約一万三千945件のうち新方式47%

③図書館の予算状況、2002年、小学生への夏休み推せん図書

(2) 議案

①ブックスタートについて

ブックスタートは、一九九二年英国バーミンガムで始まった。乳幼児期から絵本に接することによって、本の持つ楽しさを子供と親に知ってもらおうという運動。

子育て支援の一つとして実施しようというので、全員賛成。しかし、市の予算を使得って、乳幼児3・4・6ヶ月検診時に本をプレゼントす

ることは、市民全体の視点と長期の展望をもって決める必要がある等の意見が出された。館長から、平成15年スタートに向けて検討したいとのことだった。

②浦安市立中央図書館を、10月3日に視察研修する。

協議会は毎回公開、今回傍聴1名。次回は、10月24日(木)午後3時から5時まで、中央図書館で行います。

(報告/木山 碩夫)

文化講演会のお知らせ

講師 中村彰彦氏(直木賞作家)

内容 「加賀百万石の功罪」

日時 平成14年11月23日(土)

午後2時〜4時

場所 保谷公民館 視聴覚室

受付は1時30分から

先着順100名予定

第111回直木賞(平成6年)受賞作『二つの山河』をはじめ、数多くの歴史小説を執筆されており、西東京市に在住の中村彰彦氏を講師に迎えまして、いまNHK大河ドラマでも話題になっております、加賀藩についての講演をしていただきます。多くの方の参加をお待ちしております。

